

令和9年度海洋関係予算概算要求について (南鳥島レアアース泥開発関係予算)

令和8年9月

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局

南鳥島周辺海域のレアアース泥開発の推進に向けた取組

R7補正：164.3億円、R8当初：69.8億円

R9概算要求額：319.5億円（SIP全体）の内数

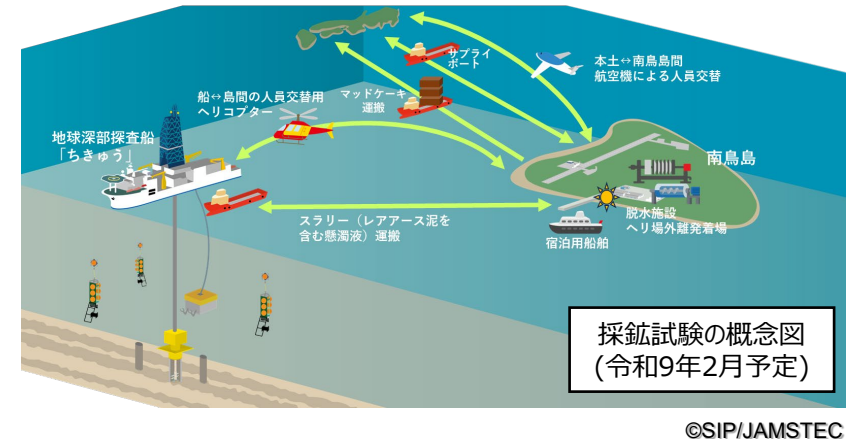
R9概算要求額：事項要求

現行（SIP第3期）

令和8年度

R7補正：164.3億円、R8当初：69.8億円

- ・南鳥島EEZ海域において、レアアース泥の採鉱システムの接続試験を実施（令和8年1月～2月）。レアアース泥の回収に成功し、採鉱システムの安定稼働を確認
- ・令和9年2月から、これまでの技術開発と運用ノウハウをベースに、本格的な採鉱試験を実施予定
- ・具体的には、
 - ✓ 350t/日の揚泥の実施
 - ✓ 南鳥島を活用した脱水処理の実施
 - ✓ 本土に輸送したうえで、分離・精製・製錬のプロセス試験を実施 等



令和9年度（最終年度）

R9概算要求額：319.5億円（SIP全体）の内数

- ・採鉱試験で揚泥したレアアース泥の分離・精製システムの実証（スケールアップ含め検討）
- ・経済性評価を含む産業化に向けた総合評価を実施

次期プロジェクト

R9概算要求額：事項要求

- ・日本成長戦略会議での議論を踏まえ、レアアース泥について、SIP第3期の成果を踏まえつつ、経済安全保障の観点から、開発に必要な体制を整備して、産業規模での開発実証を速やかに進め、併せて採算性向上に向けた研究開発を実施
- ・具体的な技術（揚泥・輸送・製錬・レアアース生産等）や、それらに必要な実施体制、資金の在り方等の検討にあたっては、専門家の意見も踏まえつつ、内閣府総合海洋政策推進事務局の司令塔機能の下、関係府省が連携して対応予定